京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

明治四十四年紀元二千五百七十一年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ケ月前金三十錢▲三ケ月前金九十錢▲六ケ月前金一圓八十錢 郵税一ケ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊(日刊)
廣告料 ▲五號活字十七字詰一行一圓▲特別欄一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久太郎
印刷人 松久錦一郎
發行所 京城西小門通 京城新報社 電話京城大四三番
仁川支局 仁川宮町三丁目 電話二一一番

東京だより

◎社會政策は近代政治の殊に顯著なる一大色彩に有之候、施藥救濟財團法人濟生會設立の事の如き、近代の恩澤として吾人の敬仰を禁じ得ざるものに候。政府當局者は、長く此の趣旨を奉戴して濟生の大事を一般民と共に行ひ、苟もす過なき事を期せざるべからず。

◎されど顧みれば吾人が少しく所思を述べなば、過日桂首相官邸に於ける富豪招待の席上に於て澁澤男が述べたる答辭の一節が頗る會心の事に候「濟生會設立の事は啻に富豪達のみにて之を負擔すべく其餘のものに負はしむべからず、現に重税を負ふ國民の困苦は一通りならず、之れを強いて二重の負擔を課するは不可なり」とは澁澤男の言に候。

◎濟民救世の大事、其名の善美にして且其事業の壯擧なる、其費二千萬圓可なり、三千萬圓可なり、五千万一億圓、多々益々大に可なりとせん、只之れを以て世の富豪の事業たらしむべく、慈善の名の下に徒らに一般多數に强ゐて出捐を強ゆる民衆をして澁澤男の所謂「二重の負擔」に困憊せしむることなからん樣切に〳〵希望いたし候。

◎現に日本の國民は、一方に於て苛酷なる重税に苦しみ、一方に於て一切の生活費の騰上に悩み居候、試みに今擧者の統計に依て概觀すれば、近來課税額の膨大は眞に驚くべきもの有之候、明治三十二年度に於ける國民一人に對する國税一圓○一錢一厘の割合なりしもの、四十三年度には三倍して七圓六十錢の割合に增加し、更に此の税に其他一切の課税を加へて計算するに於ては、今日日本國民一人に對する課税總計九圓七十五錢にして、現在日本に於ける最少の家族を五人と見れば平均一家族に課せらるゝ總額四十八圓七十五錢となる、之を日本全體に及ぼして考ふる時は明治二十六年には課税總額八千六百萬圓に過ぎざりしもの、今日に於ては六億四千九百萬圓となり、即ち實に六倍に達したる勘定に有之候。

◎國民生活費の騰上に就ては今茲に一々之を詳述する遑無之、總體より見し明治二十六年に其生活必要品の百價格なりしもの、同四十三年には平均百八十八の割合に增加せるの事實を示し、而して本年七月を以て新たに實施せらるべき關税は此生活必要品の一切の價格を實に甚だしく騰貴せしむべきは理の當然に候。

◎斯の如くにして一般國民の生活難は日一日、歩一歩迫り來り候、濟生會の事業以外、尙ほ國民の救濟を要すべき事業は殆んど數ふに遑あらざるべく候、あらゆる方面に於ける、總ての社會政策の必要は益々其急を訴へ來り候これに就ては吾人更めて別に論述する所可有之も、唯本通信の終に申上度は

◎新領土なる朝鮮の產米及穀類を本國に移入するに當りて移入税を課する事の不當なる事に有之候、聞くが如くんば、昨日京城にて開催されたる全國商業會議所大會にて該移入税廢止の請願を其筋になす事に相成候由、洵に當然の事にして之に對する理論を更に喋々せずとも既に諒解さるべく、吾人は此移入税撤廢の反響として、朝鮮產米穀の本國移入一層其數を增し、從つて廉價に人生必要品を得ることとなり一般窮民の生活負擔之れによつて輕減されんことの一日も速かならんことを切に希望するものに有之候(靈生)

●平元速成建議

平壤　元山を連結す可き平元鐵道の速成工事に就ては常に平安南道官民が熱心希望して止まざる所にして政府に於ても既に其必要を認め居るも急速工事に着手することを得ざる事情ある爲に平壤及び鎭南浦の有志は此程協議會を開き原田鎭南浦民長に速成建議案を作成せしめ之を本月二十八日當地にて開かる鐵道協會に提出する筈なりといふ

●鯖米國輸出計畫

慶尙南道にては本年新たに同道長承浦に於て米國輸出鹽鯖製造を獎勵し道より補助金を交付する事となり之れが營業者は釜山の香椎源太郎氏にして氏は製造に一般漁夫に傳習せしむる爲め新來專門家たる農商務省水產講習所田和技師を聘し長承浦に於て盛んに事業に着手しをるが此計畫にして若々効果を收むるに至らば從來數百万の漁獲は一時に堆積し、需用供給の權衡上魚價の暴落せしものあるを防ぎ漁業者の利益及び朝鮮海產業の發達を促すに甚大なるべし

●三南鐵道工事

三南　湖南鐵道線中江景裡里間の鐵道工事は用地ノ買收を終了し實山里に臨時建設事務所を置き工事部員、工事請負者等それ〴〵來着して過日來人夫募集中なりしが一兩日前より實山里を中心として愈々工事に着手し來る十二月までには大田群山間に總線列車を運轉すべく普通列車の開通は多分來年四月ならむと云へり

●各地の蠶況

全南管內各地方の養蠶狀況なりと云を聞に最近者頃總監へ報告ありたる務安、興陽の兩蠶業傳習所の分は左の如し

▲務安　木浦府計畫の務安蠶業傳習所にては去る一日第一回の掃立てをなし同六日其の第二回を終了しある蠶種は背熱にして蟻量四匁に達せり去る六日一眠に就き八日二齡となり發育良好なり

▲興陽　產業傳習所現在の傳習生は年齡十五、六歲迄の男子三十名にして每日午前九時より同十一時に至る二時間は養蠶學の教授を受け其他は飼育に從事せり同所に於いて飼育しつゝある蠶兒の種類は伊達錦にして去月廿三日第一回の掃立をなしたり蟻量四匁に達し掃立後九日にして一眠に就き五月三日二齡となり同八日二眠に就き同じく十一日三齡となりたるが是れ又發育順調にして良成績を收め得べしと(續)

●新設奉天醫學校と淸國

來る九月を以て開校する滿鐵經營の奉天醫學堂は奉天支那官衙も頗る好意を表し且其設立を希望し居るものゝ如く我より特に錫總督に對し名譽總裁として推戴すべく交涉したるに錫總督は欣んで之を諾し且つ幹事として淸國官憲の內より一人差出されたしと交涉したるに提學司內の官吏にて我早稻田專門學校出身の汪翔氏を指定し來れり素より有給として申入れたるも汪氏は現に有職の人なればとて無報酬にて幹事たることを諾せる由斯の如き有樣なれば本校成立の上は更に淸國官憲等の援助多かるべく同校生徒は一學期五十人合計二百八人醫科二年各學級五十八人總計三百人の生徒を容るゝ計畫なるも當分の內奉天醫院の一部內に假に開校し進んで新築の筈なり敎員は目下尙選定中にして多くは內承諾を得つゝあり又鳥根陸軍省醫務局長は既に幹事として任任の途にあり目下各醫學校參觀中なりと

召使れ初　第五十七回　黑法師



お道の評判は遂に奥方のお耳に入りぬ

お道が國尾の部屋子として上りし時、お道の爲めに最も親切なりしはお客會釋の若江なりき、若江は甚極めて醜けれど、それと反對にその心根は美しかりき

時は八月の半なりき、明日は一年の月のさやけさを集むといふ盟の夜なり、お道は精悍しく異萩白萩のよく咲きたるを折り取りて、國尾の床を飾るべく局の廊下を急ぎ歸る時『お道どのお道どの』と聲を掛けて、只ある局の入口より姿を見する者ありき

『た、若江様、今日は御非番でござりまするか』とお道はまづ笑ひながら問ひかける、彼女は早や奥向に馴れたりき

『ちよと來らせ、好いお耳を聞せます』

若江は肥ねて笑み斬れる様になりし頰に、愛らしき笑凹を彫みて、お道を迎ねるやうにいふ、お道は片手せ秋草の美しきを提げながら

『什麼かは知りませぬ、この花挿してから參るではなりませぬか』

『さうぢやの、明日はお月見でござるに私方へも一枝お裾分が願ひたいものでござるのう』

『お安い御用、それでは此內の色好いを、お床に生けて參らせませうな』

『御親切に有難いことの、さらばお花を挿して下さる間に、好いお耳をお聞かせ申しませうかの』と若江はまづ裡面に入る、お道も續いて入る、

『お花瓶でござりますか、それではお挿し申しませう』とお道は次の間に座を占めぬ

『是ではどうの、ちと麁末かの』と若江は帛紗袋から古銅に龍の彫物ある袋形の花瓶を出しぬ

『結構でござります、それではこれをお挿し申して參りませうの』

『お道どの、何の御流儀でござりまする』

『お恥しいこと、我の我流、申し上げるほどの術ではござりませぬ』

『ひれ〳〵、何事にも御器用なお生れと、他の噂するを聞いて居りまするで……』

若江はお道の手際好く生け居れるを見入りながら『やはり遠州御流儀と見ねまする』

『ちよと尖き挿したばかりでござりまする、機は好いやうになされ下さりませ』とお道は花に餘念なかりき

『此間に、好い耳お聞かせ申しませうの』と若江は緋縮緬の座蒲團のよほど綿の厚き上に座りて『あなた、近々お召し出しでござりまするよ』

『什麼を仰せでござりますやら』とお道は我耳を信せぬやうに笑ひ『この不束者、お上御用に立つ事はござりませぬ』

『眞實でござりまするで、御用意を旨となさせませ、今日も今日國尾様へ頼つての御所望でござりました』

『私は一生涯旦那様た御に付き纏り、一生懸命御用に立つ存でござりまするで出世を望みに、御奉公は申し上げませぬ』と云ふ中に早け終え異萩の花に匂ひ溢れて、何れを花と眺ふばかりなり

『その美しいお心が、何時とはなく奥方のお耳に入つたのでござります、どういふ御縁かも知りませぬが、あなた様のお許へ入らせの後、[illegible]様に思ふでござりまするで、あなた御出世の噂聞けば、什麼となく心嬉しうもござります』と云ひ切つて又笑つて『虚實はない、眞實の事でござりまするで』



●本日六ページ



東京電報（廿一日）

▲東宮と英帝戴冠式　英國皇帝戴冠式の當日皇太子殿下には英大使館内に催さるゝ遙拜式に御參列遊ばさるゝ筈なり

▲愛婦總裁御西下　閑院宮妃殿下には愛國婦人會總裁の御資格を以て吉田御用掛を從へさせられ二十日午前八時三十分新橋停車場御發車正副會長以下の御見送を受けさせられ京都に向け御出發相成りたり

▲獨太子と露外相　獨逸皇太子は昨日露國外相を其の病床に見舞はれ而して同夜は獨逸大使館に招待會ありたり

▲墨國政府總選擧　墨西哥叛徒の首領マデーロ及び前外相ダリールは假政府を墨西哥に設置したるが同政府の總選擧は六月に入りて擧行せらる又叛徒は政府に對し戰費三百弗を要求せり然れども之が爲め外債の必要なかるべし

▲宮中敍位式　二十日午前十時宮中鳳凰間に於て敍位式を行はせられ大原宗秩寮主事參列の上野田翁維男の正三位、朝鮮總督府郡守勳五等高源植以下五名は正七位其の他文武官百五十七名に對し位階昇敍の御沙汰ありたり

▲埼玉縣下御獵　畏き邊にては來る廿七日埼玉縣下中川獵地に於て鴨獵を催さるべき旨御沙汰あり當日は渡邊宮相、伊藤式部次長、河村宮内次官を始め米田主獵の頭以下主獵官並に御召を蒙りたる土方伯、伊東樞密顧問官其他何れも上野驛發汽車にて越ケ谷驛に下車八時過より舟を艤し鴨獵を開始し正午午餐を賜はり夕方歸京す可しと

▲伏見艦重慶着　長江遡江を企てつゝある帝國軍艦伏見は萬難を排して廿一日無事重慶に安着し大成功をなせり

▲海軍大學卒業式　今二十二日海軍大學校卒業證書授與式擧行　天皇陛下には大學校兵學校並に海軍經理學校の各優等生に對し軍刀又は銀時計を下賜せられたり

▲濟生會寄附額　恩賜財團濟生會の寄附金に就き政府當局者の見込は東京横濱に於て千五百萬圓大阪京都神戸名古屋に於て五百万圓其他各地に於て五百万圓計二千五百萬圓の寄附金を集め其利子百万圓を施藥救療の資に當てんとするに在りと云ふ

▲日瑞條約成立　日本及び瑞典間に締結したる新通商航海條約は兩國全權委員の間に調印を了したる旨杉村全權公使より外務省に公電あり

▲勸博褒賞授與　東京勸業博覽會褒賞授與式擧行授賞せられたる者は一等賞七十六、二等賞百四十四名三等賞二百名、四等賞二百六十七名なりと

▲各地の大火　秋田、青森の各地に大火あり更らに福島縣坂下町にも失火ありて同町三百餘戸燒失せり

▲北海道の慘狀　北海道の山火事尚未だ鎭火せず宗谷燈臺を燒失し慘狀非常のものにて殆んど稀有の事なり

雜報

●地方官會議と形式

來る七月一日より開會の各道長官會議の形式に就き内務部當局者の談によれば道長官會議の形式は例年内務省に召集する府縣知事會議の形式をとり單に内務部の所管事務に關するのみならず廣く各部所管事務に就ても協議する筈にて目下夫れ〳〵各部に交渉中なりと云ふ

●憲兵隊長の會期

警務部長會議に召集狀を發したる各憲兵隊長警務部長會議の會期は七月一日より約一週間の豫定なりと

●本年栽培の陸地棉　約三千町歩に達す

▲有望なる畑作　陸地棉は各種農產物中最も有望なる畑作として指を屈せられ隨つて之に對する當局者の奬勵は實に至れり盡せりと謂つべし試みに吾が内地に於ける外國棉の總輸入額を見るに年々一億圓の巨額を算し輸入貿易上の大宗と稱せらるゝ程なるに今此重要なる產物が新領土たる朝鮮に於て經營せられ而かも過去數年間の經驗は明かに其至適せるを認むるに到りたるは正さに是れ一大天惠として其前途を祝福すべき次第なりとす。

▲數年間の發達　現に去る三十九年に於ける栽培面積は僅かに四十九町歩なりしが其後年々地域を擴張して昨四十三年は千百二十町歩となり之に依りて產出し得たる總額亦約百萬斤を算するに到れり而して本年は更に大に之を擴張して總面積三千町歩を栽培する事となり既に夫れ〳〵蒔付を了へたるが發芽狀態甚だ佳良なれば豫首收穫時々期待し得べし思ふに三十九年の試作當時を回想すれば其進步發達の速かなる豈に驚くべからずや。

▲全南が最適地　昨年までの栽培地は漸く全羅南道の數郡廳なりしが本年は十六郡廳に增加し更に慶尙南道晉州慶尙北道慶州忠南北道水同及全羅北道泰仁の四郡廳を撰定し合計二十郡處に各技手を配置して栽培者を指導奬勵し居れり而して全羅南道は到る處其栽培に適するが若し本年度擴張せる他の各道の成績良好なるを得ば尙は益々北進すべき方針なりと

▲巨額の輸入種子　昨年中收穫せる棉花は木浦繰綿工場に於て製分し之より得たる種子を利用し居れるも尙は不足を補ふ爲め米國より更に種子四萬斤を取寄せ以て耕作者に付與したり其價格百斤約十五圓合計六千圓を要したりといふ

▲良質にして廉價　元來陸地棉則ちアプランドは紡績糸として其纖維甚だ細長なる爲め混用して之を紡績するに適す而して目下吾が國紡績工場に使用し居る外國棉は印度棉及支那及米國棉の四種なるが唯だ陸地棉のみは從來米國の特產として稱せられ隨つて相場の如きも兎角同地商人の自由に左右せらるゝの憾なり然るに今朝鮮に在つて之を產し而かも品質に於て何等優劣なきのみならず價格亦甚だ低廉なるは無上の幸福と謂つべく故に假令其現產額は微少なるも米國をして獨占的の念を去らしむるに甚大の效果なるや疑ふべからざるなりと云ふ

●總督の開城行

寺內總督及び夫人は明石警務總長檜垣道長官兒玉伯夫人中山大佐藤田大尉等を隨へ廿一日午前九時十分南大門發列車にて開城に赴き新に開設せる共同恩賜授產場を始め蔘政局其他を視察し午後六時三十分南大門着列車にて歸京されたり

●愛國婦人會總會

次第書　愛國婦人會朝鮮本部第二回總會次第書は左の如く決定し京城龍山在住の會員には既に本部より一々案內狀を發送したるが地方より參列の會員に對しては鐵道局に於て特に汽車賃三割引を承認したるに依り各參列會員に配布する爲割引證をも各支部委員部宛發送したり

一五月廿七日(土曜日)午後一時卅分昌德宮御苑に於て第二回總會を擧行す
一當日會員は會員章贊助員章佩用(有功章併佩)のこと
一開會　爆竹を以て報す
一本部長代理　總裁殿下御眞影の覆を撤す　奏樂　君ケ代　一同敬禮
一部長代理開會を宣告す
一總裁殿下御諭旨
一本部長代理事務報告
一會長代理祝詞
一來賓祝詞
一本部長代理閉會を宣告す
一本部副長總裁殿下御眞影の覆をなす　一同敬禮
右畢て模擬店、餘興開始　爆竹を以て報す

注意
一出席會員贊助員に限り總會當日及翌日其筋の許可を得て特に仁政殿、御苑一園、動物園、植物園、博物館及景福宮を拜觀せしむ
一出席會員、贊助員は徽章有功章佩用の上開會前に會場に參列すること
一出席者は朝鮮總督府醫院前弘化門(電車の供あり)より入受付係員より紀念品、報告書及仁政殿其他の拜觀劵の交付を受け會場へ入ること
一服裝はフロックコート、軍服、制服又は羽織袴のこと
一婦人の着衣は質素にして不敬にわたらざるもの白襟紋付に及ばず
一出席者の爲め臨時救護所の設あり

●鐵道大會準備

來る廿八日總會を開くべき鐵道協會の出席者は朝野の名流を網羅するため當朝鮮鐵道局にては目下其歡迎方に關し殆んど徹夜從事し居れりと云ふ

●最近鮮人戶數

總督府最近調査に係る朝鮮人(日本內地人を含まず)の人口一千二百九十五萬九千八百八十人にして戶數二百七十四万一千四百三十八戶なるが之を各道別に記せば左の如し

道名	戶數	人口
▲京畿道	二九三、三二四	一、三〇八、一九三
▲忠淸北道	一三〇、一七四	五三三、三六二
▲忠淸南道	一七四、五六六	八一四、六五二
▲全羅北道	二〇五、八九一	九四八、二五一
▲全羅南道	三三三、八六六	一、五〇〇、六〇九
▲慶尙北道	三二六、九四七	一、五三〇、五五四
▲慶尙南道	二九一、五九二	一、三六五、〇〇九
▲江原道	一九八、六一五	七七四、四〇七
▲黃海道	二二六、四〇九	九六八、八五三
▲平安南道	一八六、三二六	八四四、〇二一
▲平安北道	一八二、九三二	九六六、七四三
▲咸鏡南道	一五九、四四七	八五〇、八九六
▲咸鏡北道	七九、五四四	四三五、一四三
合計	二、七四一、四三八	一二、九五九、八八〇

●朝鮮現住者國別

總督府最近調査に係る全道の人口一千三百十二萬一千二百三十三人にして內朝鮮人一千二百九十五萬九千八百八十人內地人十五萬八千二百六十五人外國人二千九百八十八人なり

●東拓金融部現況

東洋拓殖會社の金融部に於ける近來の情況を聞くに現在の貸付高は約五十六七萬圓にして昨年の本月頃は二十五万圓内外なりしが爾來漸く增加し以て今日に至りしものにて其增加比例は之れを月割とするときは毎月五萬圓宛にて目下は農事の繁忙時期なれば金融は閑散なりと云ふ

●本年の麥作狀況

昨年の麥作は旱魃のため稍ゝ凶作として本年は天候順良にして發育に何等支障なかりし如き現狀なるを以て麥作は多分豐穰なるへしと農務當局者は語れり

●仁川大連間定期航路

將來滿洲南部への貿易の繁榮に屬すべき關東都督府の北滿命令航路は目下大阪及び香港に於ける新造船の竣工を待ちて開始すべき筈のところ其後大連の河邊、田中兩氏の手にて種々交渉を重ねたる結果竣成迄の代船として今回第五、第五至丸(八千八百噸)を傭船する事となり來る六月一日より仁川大連芝罘天津間の定期航路を開始すべしと云ふ

●原敬氏一行入京期

政友會總裁原敬氏代議士井上角五郎、高橋光威、淸本太郎氏等の一行は廿四日入京すべく當地より藤波通譯官案內のため安東縣迄出迎ひたり

●佛國公使の出發

滯京中なりし南米秘露駐劄佛國公使ジアンギッマン氏夫妻は二十一日安奉線を經て歸國の筈なりしも急に旅程を變更し同日午前九時南大門發列車にて釜山を經て下關に向け出發したり停車場には各國領事文武官の見送り盛んなりし

●檜垣長官の出發

管內巡回のため出張すべき檜垣長官は二十三日午前九時出發の由なり

●小幡總領事來鮮

天津駐在の總領事小幡酉吉氏は別項原敬氏等の一行と共に廿四日入京の筈なり

▲人さま〴〵▼(三十六)　伊藤德順君

李完用を傷つけ時の朝野を騷がした兇漢、李在明等の檢事を司どれる京城地方裁判所檢事伊藤德順君は、明治大學出身の秀才で德島縣の人だ、サテ檢事といへば兎角武者の恐ろしい人の如うに思はるゝが、君は一見如何にも溫厚の風彩である爲め、人皆彼の人が檢事かと評つて居る、處で其一たび犯罪事件に臨むや、眼光炯々として恰かもエッキス光線の射るが如くである爲め、伊藤檢事に掛かつてはモウ駄目だとは未決囚の異口同音の嘆聲であるそうな、君今又併合後の一大事件安命根梁起鐸等の審問を擔當して居る、近く其公判廷に於ける京風辯の大論告を傍聽し得らるゝであらう。

●加藤增雄氏の入京　元宮内府顧問たりし加藤增雄氏は大日本勸業株式會社の創立委員長として社用を以て廿日入京ソンタクホテルに投宿當分滯留の由

●佐々木部長の出張　土地調査局の佐々木部長は微恙の爲め引籠中の處快癒したるを以て本日出立南鮮地方へ出張したり

●花田中佐來京　日露戰役の際滿洲に於て義兵を指揮し名ありたる花田豫備中佐は今回、報德會擴張の用務を帶び近く來京の旨通知ありたり

●頭本元貞氏の入京　ジャパン、タイムス社長頭本元貞氏は廿日夜入京ソンタクホテルに投宿せしが四五日間滯在の由なり

●各支店長の歸任

支店長會議のため入京中なりし韓國銀行各地支店長等は廿一日夫れ〳〵歸任したり

●竹内綱氏の入京　竹内綱氏は廿一日入京天眞樓に投宿せしが二三日當地に滯留の上廿四日頃出發の筈

●花井技師の死去　平壤勸業模範場技師花井藤一郎氏は廿日任地にて死去す

●京龍在鄕軍人

京畿道管內に於ける在鄕軍人會は隨處に於て組織され既に發會式擧行濟となり只殘るは京城と龍山のみなるが右二地方も在鄕軍人調査結了したれば近々兩立者の會合を開き發會式擧行に關する準備上の協議をなす筈なり因に記す京城の軍人は前日迄の調査九百七十餘名を算したるが尙は引續き屆出あれば多分千百餘名に達すべく龍山は三百四十餘名と略確定せりと

●京龍電車賃銀改定期

日韓瓦斯電氣會社にて京城龍山間の電車賃銀を低減すべく從來二區制なりしを三區とし一區三錢とすることに內定し其筋へ申請中なるが來る六月一日より實施する手筈になり居るを以て近々申請に對する許可あるべしといふ

●總督府統計要覽　目下總督府に於て材料蒐集中なる朝鮮總督府統計要覽は來六月下旬發行すべしと

●京畿道事業

臨時恩賜事業費各道別決定額に就ては既に報する處ありしが尙ほ内務部に於て審査の上認可を與へたる京畿道外十二道の本年度內に施設經營すべき恩賜事業中、京畿道のものは左の如し

△授產事業　京城府事業として養蠶場を設置し養蠶事業、桑園設置、桑苗圃設置桑苗配布等を行ひ果樹栽培奬勵として苗木の配布、栽培指導生產果物の處分等を奬勵すること及び仁川府外三十六郡の事業として共同恩賜授產場八箇所を設置し養蠶桑苗養成桑苗配布桑園地料鷄舍及鷄具補助養鷄作業等を勵行する事各府郡共同事業として農具實習員養成稻作實習森林實習養家副業實習等を爲さしむる事

△教育事業　(イ)既設公立普通學校九校を限り補助する事(ロ)公立普通學校十校設置する事(ハ)郡前教師の設置及び一般私立學校補助二府八郡私立普通學校新設十八校

△救濟事業　(イ)生業に缺くべからざる資料又は器具の給與(ロ)飢餓に迫る者に一時必要なる食品の給與

●安城軍人會發會式

京畿道安城在鄕軍人分會發會式は廿一日午前十時より同地普通學校内に於て擧行せり此日藥師川警務部長は藤井巡查を從へ臨場せしが會員三十三名來賓は日鮮有志六十餘名にして先づ分會設立擔當員の挨拶あり次いで藥師川警務部長一場の訓示をなしそれより役員の選擧を行ひたるに分會長には警察署一等軍醫島地昇副會長には三等獸醫委澤鐵八郎の兩氏當選後宴會餘興等あり盛況を極めて散會せりと

●北韓電氣の消息

北韓電氣株式會社は認可後、電燈敷地の使用上に付き陸軍省に認可申請中なるが右指令ら來し建築材料蒐集し居れるが工事に着手すべく昨今專ら豫定の進捗をなせば來九月に到らば點火するを得べしと

●馬山電燈開業式

馬山電燈は二十一日夜假點燈したるに成績甚だ良好なりし趣にて來る廿八日開業式を行ふべく本社よりは岡崎專務出張すべしと云ふ

●開城授產場の開始

京畿道開城、長湍、坡州、交河四郡の聯合授產場は開城東部に聯合授產物を設け兩班儒生の子弟三十六名を講習生として今回養蠶、養鷄の授產を開始せり

●基督教音樂會

京城基督教青年會にては來る二十三二十四の兩日午後七時より京城ホテルに於て音樂會を開催すといふ

●養蠶傳習と授產場　朝鮮内に於ける一般人民にして自費を以て養蠶傳習希望の者は富平郡業砂驛東方啓蒙園内の恩賜授產場へ至急申込運動の許可を受くべしと

●學校組合設立認可　江原道鐵原學校忠淸南道洪州學校の組合設立は今二十二日認可されたり

●京城產兒院開始　光化門通り明禮宮跡を買收し移轉せる朝鮮助產婦養成所は同時に京城產兒院をも開始する事となり目下盛んに改築工事中なるが西五日中竣成の上は先つ直に助產婦の授業を開始する由にて昨今生徒は二十名收容し居れどなほ二十名位を募集する豫定なり

●鐵道工事と商取引

大田江景間の鐵道工事は日々進捗せられ毎日之れが人夫に仕拂ふ賃金は千圓を超へつゝある由にて爲めに沿道村落は商取引大に活潑に向ひつゝありと

●消設苗圃の擴張

平安南道にける苗圃用地は從來五丁歩に過ぎざりしを以て從つて成苗の配布も約五十萬本に足らざりしが本年度よりは更らに擴張して八丁二反三十歩の地面を購入すべき計畫なるを以て未年度に於ては優に百萬本の成苗配布を爲し得べし

●辭令

朝鮮總督府視學官　石田新太郎
内務部學務局勤務を命す
同　編修官　立柄　教俊
同編輯課勤務を命す

陸軍二等軍醫　渡邊　武夫
警察醫務を囑託す

●銀行券發行高

五月十四日より二十日に至る韓銀貨幣發行高如左

銀行券總發行平均高	二〇、六五二、七一四
內 正貨準備發行平均高	七、六九二、七七一
保證準備發行平均高	一二、九五九、九四三

公人私人

▲中村光吉(韓銀平壤支店長)　平壤行
▲櫻井幸治(朝鮮商銀鎭南浦出張所長)　鎭南浦行
▲仙波正太郎(同安東縣支店支配人)　安東行
▲東永吉(同木浦支店支配人)　釜山行
▲鈴木澤之助(同新義州支店支配人)　新義州行
▲麻生達(同群山出張所主任)　大邱行
▲矢野久三郎(鎭南浦稅關長)　鎭南浦行
▲中山峰次(同稅關主事)　同
▲掛札季康(技師)　釜山行
▲高瀨梅吉(銀行支店長)　平壤行
▲神宮司砲助(醫師)　釜山行
▲今井武人(咸鏡農銀支配人)　同
▲小川平吉(代議士)　巴城館へ
▲淺田直重(北韓新聞社長)　浦尾旅館へ
▲竹内綱(韓海漁業重役)　天眞樓へ
▲松井虎太(醫師)　巴城館へ
▲星出二藏(同)　同
▲最上均(同)　同
▲東福寺子四郎(同)　山本旅館へ
▲宮脇梅吉(判事)　不二屋旅館へ

▲京城手形交換高▼

五月廿一日　金高　一九一、五一〇、一〇〇　枚數　四七五

▲京龍兩驛の貨客▼

▲南大門驛乘降客　廿一日の分
乘車客　八一二　下車客　九四三
乘車賃金　二、〇〇三、一〇

▲南大門驛貨物發着高　廿一日の分
發送　九〇噸　到着　四四九噸
貨物賃金　四三六、〇一

▲龍山驛乘降客　廿一日の分
乘車客　二三〇　下車客　二五五
乘車賃金　二一八、一九

▲龍山驛貨物發着高　廿一日の分
發送　一噸　到着　七九噸
貨物賃金　七、八九

▲茶袋▼

總督府が地方產業の奬勵に盡力して居るのを見ると、昔地大經の苦心じや無い、現に色々の種子種苗を無代で交付して、山を賑はす樣、畑を有利ならしむる樣夫れは〳〵探い處に手が屆かんばかりである▲然るに地方民の迂昧なる往々冒險調斷の滑稽ばかり仕出かして、爲る處當局者を手古摺らせる居る▲此間も平安萬本の桑苗を給與せに植ゆるのであるがり半分以上も枯ら滿洲道ではポプラ苗に植付けさせた處に挿込むで居る、ぬ▲中村課長が半見に似て居ると、の同課長としてが蛇の道は蛇で牛敗けず劣らずと力むで居る、を見ると是も布

●鎭南浦公園計畫　鎭南浦にては從來永溺島を以て公園地の如くにし別に公園をして何等設備されたるもの至らざりしが今回發溺島が築工地區内に編入さるゝことゝなりしを以て又々公園新設の議起り早速同地大神宮山んどの事となり近々具體的成案を見るに至るべしといふ

●牛馬會社の大邱支店　當京城に本

▲相場電報（二十二日）

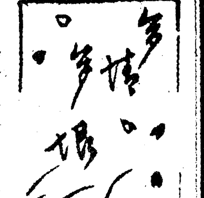
▲大阪株式（六月限）

▲京阪同	五七、七〇	五七、七〇
▲電鐵同	五七、六〇〇	五七、八〇〇
▲鐘淵同	九七、一〇〇	電文不明
大阪同	〇三、一〇〇	九七、三〇
▲大阪株式同	一六、三〇〇	一六、七〇〇
▲同直同	一六、四〇〇	一七、五〇〇
▲取引同	一八、七〇〇	一九、一〇〇

三錢▲六月寄三十五錢▲止十六錢▲後場五月寄十六圓九十五錢▲止不明▲七寄三十六錢▲三十八錢

四十二錢▲止四十七錢▲後場五六月來不申▲七月寄四十九錢▲最高四十六錢止四十九錢

なく同地官民間にも之を不便とし新設の議起りたるも今日之を實現するに附近全部の地に一萬圓餘を投じ運動場、圖書館娛樂部等を備へたる公園を設け回大路に[illegible]居を設置したりと
店を有せる牛馬賣買株式會社にては今



京城 藝妓の半生（十四） 掬翠樓 江戸奴

江戸奴、渠女は其の年期が滿けたら『夫婦おやぞね』と契つた人に愛想を盡される、と云ふのを口實に何にも話さない渡米一件の如きも極めて曖昧なことを申して居る位だから況んやですね其の滞在中の事なぞ恐いて訊ねても申し上げればてそであるから記者は記者の聞き知つた所を紹介する何處かでモ一遍稼いで試たい氣で居る十八歳の春烏森の扇芳亭の主人がセントルイスの博覧會へ日本料理店を出し傍ら奇麗な藝妓を揃へて都踊でも行らせたら儲かるだらうとの不量見を起してカ々へ手を回した其の又手下の勸誘員となるものゝ言い草たるや砂糖の木へ餅が實る如なもので博覧會が終つても米國の彼方此方を一年も興行して回らうものなら給金や歩割や又は内職のお座敷なるものもあらうから少くとも一萬圓位は蓄財ること請合ひだ、國つても叶はぬ人さへある拌行までして金儲けが出來るんだ斯樣甘へ話があるものぢやアねわ何にしろ米國と云へは世界一の金持國だ一寸與れる纒頭でも百弗二百弗と云ふんだから、俺達も女なら行くんだが男ぢやア始まらねね、と云ふのだ、が當時は何分日露戰爭の眞最中である、ので航海が甚だ危險であると云ふのと一つは入國に制限が殖ねて居たのでオイソレと引つ掛るものがない、れ芽出度く出來上つた扇芳亭の主人は夫れが發念で堪らない見す〜大金持になれるのだと云ふので馳け摺り回つて漸く慾の皮の張り切れる程無分別の量見を詰込んだ連中を三十三名と掻り集めた、實に江戸奴も其の一人であつたのだ、船と云つたら屠牛船か渡し船、氣の利いたので一錢蒸汽より外に乘つた事のない連中も大金持になると云ふ夢の如き希望に憧がれて三等室に豚同樣の取り扱ひを受けつゝ十數日を費して無事桑港に着いたのは五月の上旬で早速興業に取り掛ると同時に雲霞の如く押し寄せて大拍手大喝采の裡に持ち切れぬ程儲かる筈の都踊、何に不入で貰へぬ筈の手當さへも碌々仕拂へぬと云ふ始末に元は勿論美人連中も青菜に鹽で大袈裟に云へば後には飯も滿足に食へない程であつた、元來美人連の多くは米國へ行つたら『日本ベツピン大サン美く』と引つ張り凧にされる心算の夫れ専問と心掛けて居たのだが當事と何やらで向ふから外れて終つたのは稼の事開演した當時は相當に入場者もあつた夫れの大多數が日本人で來るべき筈の米國人は稀であつた夫れに引き變へ隣りの日本喫茶店はナカ〜の大繁昌で四五人の給仕女が目の眩る程、都踊一行には東三津五郎の姉の玉三郎（？）も居た、南山町松葉亭の駒江も居たと記憶する（つゞく）

清華亭 お多福の度胸

▽れ客に屁をかます ▽事實は到底事實也

去る十九日の夜永樂町淸華亭の玄關へ玉盤上に玉を轉ばした如にスルスルとツと通した車夫の聲にハーイーと答へながら玄關へ顯はれた仲居に案内せられて廣間に奥座敷へ通つた二人の客がある、一人は其の打解けた容子に普通挽き着けられた謎と分つたが一人は初りでない馴染客と見えて座定見と見へて極めて眞面目である、まつて幾其の席へ罷り出でたるは同亭の一粒選れ多福を筆頭に頓子、今奴の三拍子揃つて今晩アリーも拔きの親類交際、献しつ酬されつの酒事の異最中、れ多福拍子の背後に方つて恰然物の怪の空行く如く姿は見へでスウーと音を立てたものがある呼ッ？と客の二人は眼を瞠ゝ頓子、今奴の二拍子はアレッと客の膝に總り着く途端に又もやれ多福の背後に方つてスウーーと音がした、と其の瞬間何とも云へぬ一種異様の臭氣が一座の鼻を穿つ呼ッ？と一座は二度吃驚呼つた眼に滲みる如に匂ひ亘る、夫れが疑ひもない尻のアクビ、即ち下樣で申す屁の夫れである一座は三度アッと驚いたが唯り多福のみは泰然としてニャ〜笑つて居る

「屁だ」と叫んだのは客の一人である「オナラだワ」と叫んだのは頓子である「ウム確實に屁である」と怒鳴つたのは客の一人である「確かによ、加かも豆のよ」と鯔る精通しいのは今奴である、異口同音に斯く叫んでれ多福に詰責の眼を向ける相變らずのニコ〜然たるれ多福は一向濟ましたもので「妾れ銚子を取つて來るワ」と中腰になる「今起たれて堪るか」と叫んだは馴染客「臭ひおちやねむか」と睨む「アラ其樣に匂つて……御恐して頂戴よ、今日ツイ豆を食べ過ぎたからなの…妾し隨分我慢してたの、けどモウ我慢が仕切れなくつてツイなんしたの、デモ子何うか音だけさせまいと斯う云ふ風に兩方のた尻の咽喉を擴げてたんだけど…隨分澀つて居たと見へるワ」「チェッ玉を附けて遣つてモタレたの泣嗅きやア徴話アねへや……夫れにしても能心地は何ともねゝのか」「何ともない所ですかよ、今にも突つ反し相なのよ」「色消しだナア、此の上雜貨屋でも出されちや事だ、オイシトロンでも飲まして遣れ」、忽ち運ばれた奴を二本息も繼がずに飲み乾した多福、胸を探つて今度は上からグーイ、グーイ『ア、清爽〜した、グーイ』とは善い度胸なり

一女振り（十二）

小島遠君長女 小島さを子

御父さんの遠君は韓國銀行に御勤めなすつて居られる、みさほさんは本年丁度の二十である、朝日に燦めく城の金の鯱をグイと睨んでオギャアと高い産聲を上げられたのである、其の因縁で今もアノ旭町二丁目の舍宅から京城の名古屋城なるものを眺めて御座る、天の配劑妙なる哉は少し變である、閑話休題みさほさんの体格は實に完全なもので女として申し分ない面して氣質は賊に優しく多くの弟御や妹御の面倒を御覽になる、本年當地の民團立高等女學校を卒業せられたのである、學科の方は優秀とはないが頗る常識に富み世事に長じて居らるゝから何時何誰の奥樣になられても立派なものである、此れは我輩が太鼓の如き判を捺して請合ふ處である。

方に於て劇藥を吞み自殺を企てたる者ありとの屆出に接したる巡査は直に現場に駈付見たる處今しも已に苦悶中なりしかば早速小倉醫士を迎ね應急手當を加へたるに回復するらしき模樣なりしも同十時に至り吐血數回に及びければ小倉醫士は佐藤醫士の立會を求め共に治療を加へたるも遂に其効なく同十一時多量の脱糞をなしたる後倍々重体に陷り翌廿一日午前一時死亡したるが今其死亡の原因を聞くに變死者は原籍愛媛縣新居郡飯岡村字龜の甲番地不詳平民乙吉長女野口**イトエ**（十九）とて昨年四月頃同家の手人村上に連られ來り同家に奉公し居たるが元より村上とは親族の關係もありし事とて朝夕忠やかに立働き居たるが村上方には長男**光雄**（十七）あり漸くて近きし男女の交情とて二人は何時しか馴染合密に情を通じ**夫婦の約束**なし居たるに其後イトエは本町二丁目雜貨商波多野良雄方へ下女奉公に行き居たるが爾來艶書の交換をなし時々密會しては樂み居たるが村上一家内に於ても兩人の關係を薄々耳にしたれば折々其の不心得を諭し居たるに何も兩人の變情は益々募り來りければ當日には父貞市及竹中ひで等の**親戚**より多少の**意見**を加へ小言を聞せられ倘イトエの奉公先を京城に賜合する等にてイトエは若し自分が京城に行きし時は互に戀の目的を遂するを得ざるを悲觀し精神に異狀を來し前記の手段に及びしなり

●公金で女郎買

廣島縣人當時御成町百六十四番戸岡部重吉（三二）は四十一年四月鐵道局雇を拜命四十二年十月より南大門驛貨物係りとなり四十三年十一月より貨物係發現金出納員となり運賃徴收に從事中本年五月三日迄の間に於て惡辣なる手段を以て徴收したる金六百四十九圓四十九錢を横領し中の新地常盤樓娼妓政子、大阪樓仇吉新町玉家の浪花栴月の若鶴等の來日曜樓の萬○其他二三の箇所にて浪費したる事其の筋に檢舉され檢事局に送られ豫審終決して兩角檢事の手にて公判に付せられたり

●吉江の不心得

新町遊廓曾春樓娼妓吉江事吉崎ごめ（二三）は去る十一日午前無斷外出せしまゝ行衛不明となりしより樓主は直ちに其筋に屆出でたるにぞ搜査手配中なりしが彼は逃亡の際衣類數點（代九十余圓）及懇意の娼妓梅之助事松村はるを欺き袷襦袢外一點現金一圓五十錢を騙取し

品は入質し居る事が大師大黑町料理店千歳に稻垣きんと偽名し前借百五十圓にて入込み居りたるを取押へられし由なるが斯の如き惡事を爲したるは無賴漢に欺されしか爲めなりと

●飛や火に入る夏の虫

旭町二丁目阿部宗助方に窃盜前科犯の曲者三四名獄出獄後浮浪し居る旨探知したる長野刑事は注意中の處其の内の一人井上淨吉なるものに嫌疑ありて南部署に引致し取調の上犯罪搜査中同居人石井總次郎なる者出頭し井上は何故留置されしやと理由を問ひたるより長野刑事は面會の上何の用事かを問ひ更らに件所氏名等を問ひたるに同人は此れ迄同刑事に檢舉され一事ある窃盜三犯迄ある曲者の事とて種々尋ねられ曖昧なる申立をし擧動不審なるより尚ほ取調中なるが飛んで火に入る夏の虫とは此の事かな

●清人の賭博檢擧

京城に在る無頼の清國人等は近來三十六奕と稱する賭博を行ひ多數の清鮮人より巨額の金を捲き上げ居ることを南部署にて探知したるに淸國總領事館の元巡査たりしものゝ目張りして容易に逮捕し得ざりしも嚴密なる手配の結果賭場開張主羊玉山外五名を逮捕したり

●澄友倶樂部運動會

二十一日午前十時より仁川八景園裏小山に開會せられたるが當日は天氣豫報に面當ての如くの快晴に一層の盛會を見たり場内には警視廳あり銀行あり商業會議所あり賣店あり、帝國座あり國技館あり新聞社あり銀行にては兌換券を發行して警視廳に平服巡査を配して贅澤なる扮裝したる男女を物色し否應云はせず拘引又は科料に處すなど頗る振つたり午後五時無事散會したり因に其銀行の營業廣告に曰

一、俸給恩給抵當低利貸金
一、兩替爲替貯金典當
右確實に營業仕候

●人夫のストライキ

咸鏡北道に在る公司臺の車押人夫二百餘名（淸鮮人）は本月初旬より賃錢を値下げられたるに不幸を唱へて同盟休業をなしたる由官憲は百方勸誘して此程より漸やく從事したるも主謀者二名は行衛を晦まして今に歸來せず

●金光教と天理教

過日の本紙に天理教會にて春季大祭執行せられし如く記載し猶は奨忠壇に於て園遊會を開催する旨報道したるは全く金光教の誤りなりしに付き訂正す

●府内の盲者と啞者

京城府内に於ける盲者は男百六十二人女二十七人啞者は男七十三人女三十八人ありと彼等の職業は賣卜百三十三人鍼灸按摩業四十三無職百〇八人にして賣卜者は一ケ年三四十圓乃至百圓の收入ありと云ふ

●演藝だより

●壽座 每夜好人氣なる曾我廼家一派の廿三日替の出し物は一番目三人女房三場、二番目ふられ男三郎三場、三番目アイラブユー三場、四番目忠臣藏序より七段目

●浪花館 桐竹小知榮一座の娘義太夫にして二十三日の語り物は實の入舟（入舟太夫）太功記五段目（小伊勢）一の谷三段目（小舍）壺坂寺さわり（富四郎小房）太功記十段目（小吉）忠臣藏六段目（小三）岸姫三段目（小藤）佐倉宗吾子別れの段（小知榮）十劍れ傾城兵庫樓掛合三味線（廣澤寛三、才三）

●悲慘なる一家へ（二十一日）
一金一圓 本町六丁目 折原某女
一金一圓 明治町一丁目 唐川商店

▲[illegible]▼

▲長谷川町の福岡自轉車屋へ先日時計借りをせんとし入りしに鮮人店員候の面ばかり見て居て貸しませんと云つた實に不都合だ（通行人）▲監獄署の某課長近頃妻を入れたが其女は曰く付きなり何ぼ同人は部下監督に依怙贔負がある長官注意せられよ（公平無私生）▲先日僕は朋友桂月、白草原、鐵鶴等と松園へ行つた處注文板の裏面に次の如き文章が有つた『松その〜花のチョコマン野に咲けば一夜の春を手折りて眺めん』云々とあつた（爲永春水）▲不埒の奴であるアノ美しい娘を賣女の如く心得るきは一生添ひないと云はず一夜俳優に酔いたいとは不埒だ〜（小僧）▲或る一派の者ども『屁敷を拂つて田ア實り玉へ』だが腿口さるゝ天理教會堂の布教者は佐藤松人と云ふ人で吉野町二丁目六番戸に住んで居るが先生は退職陸軍少佐で從六位勳五等功五級の肩書ある人で誠に信仰の深い人格の高い方であるから當地の信者は仕合せであります（への字）▲先日の事ではあるが農商工部通用門の板塀の處にヨボが糞尿を載せた車を置いたするトタンにヨボの邊りに小石がパラ〜ドウしたのかと思ふと塀の上部の内からオイヨボカア〜と頻りに怒鳴る妙だねー、處へ門内から眼鏡でれ袴をつけた先生が血眼で走り出で杖でヨボを打つヨボは合點がゆかぬナアと云ふ樣な顔付で打たれて居たが彼れは多分臭いのが執務に差閊へを生じたものだろふねー（通行人）▲龍山鍊兵場前に興行中の大阪相撲の請元へ寄附してある幟が丁度三本鍊兵場側の方に立つて居て勸進元、勸進元、勸進元とカンの字が三樣に書いて有る一体トノ字がよろしいの（無學男）

▲神戸電鐵 引 三一、九〇 出來不申 三一、九〇 三一、〇〇
▲東京電燈 同 一〇三、三〇 一〇三、四〇
東京 同 九四、四〇 九四、一〇
株式 同 九四、四〇 九五、〇〇
●廿二日前場五月限十六圓九十錢▲六月限十七圓十一錢▲止十
●廿二日前場五六月出來不申▲七月限十一圓四十五錢▲最高四十七錢▲最低

夏もの大賣出し

●諸公債諸株券 現物賣買 迅速確實に御取扱可申候 兼業 京城本町

京城産兒院

今般京城産兒院を開始し分娩者の入院に付ては赤貧者は施料として、普通入院者には患者の望みに依り一室を貸與し自炊するもの或は賄付きも夫れ〳〵の望みに應じて經費を節約し、取扱ふには婦人科專門醫師及老練なる産婆看護婦數名を傭聘し患家の招致に應じ一般患者の便益を計る趣旨なり、同所に助産婦養成所を移轉し從前通り鮮人諸婦の育英を計り併合の今日半島に於て未曾有の業務を開始し赤誠を以て獻身的に同胞の運命を救濟し社會人道に盡す、因て大方諸彥に謹告す

西部新橋通り布德門內(元明禮宮跡)

朝鮮助産婦養成所 京城産兒院

伊集院かね
三池鶴代

電話一三〇四 一四八九番

元明治町に在住罷在候處今般明禮宮內に移轉し斯業に精勵仕候

開店賣出し

本場 有松志ぼり

開店披露の爲め粗景呈上 來る廿日より七日間

京城本町二丁目(明治町入口より二軒目)

尾張屋支店

夏衣大賣出し

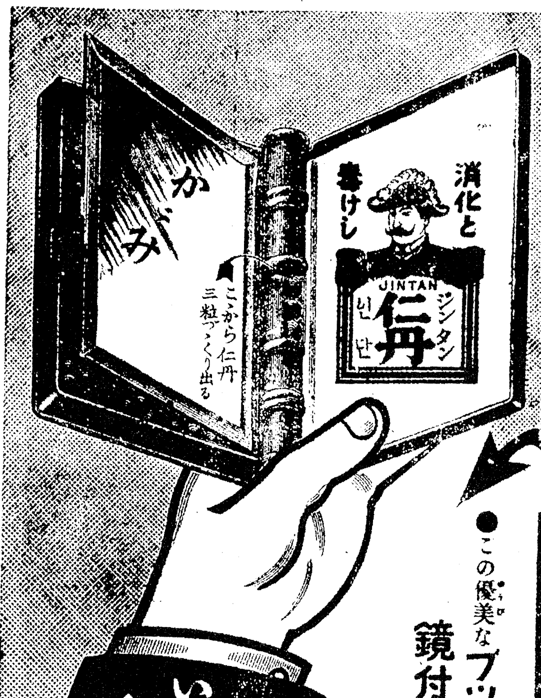
來る五月廿二日より

單地浴衣地用名仙 壹反に付(縞類絣類總て珍柄) 四圓、五圓、六圓 參種均一

其他縞絽羽織地縞絽着尺並に美術半衿各種取揃申候 弊店獨特なる均一販賣破格の廉價此の機を逸せず多少共御用命仰付被下度偏に希上候

明治町一丁目(電話四十三番)

秩父屋 関根出張店



いつも仁丹持つが肝心

●この優美なブック形の鏡付容器(實物二倍大)

表紙を開く毎に仁丹三粒宛繰出る

第一頁は一点の曇なき明鏡

第二頁は香床き仁丹の本體

眞に嶄新、眞に重寶

▼五十錢包に一個添附す



等は仁丹ですぐ治る……どなたも平時御服用あれ

●吐き
●音聲美
●口熱口臭
●惡

藥房

全治新藥 神經痛 リヨウマチス妙藥 アンチレモール

伯林ベルリン、ブアイヒョー赤九字社病院勤務ドクトル、ツアイガン氏は醫事週報誌上に於て寒冷より起りたる諸症殊に關節リウマチス、神經痛患者に倉匙二匙を一日三回塗擦し試驗したるに患部に大効を奏し漸次疼痛を去り全く疼痛を感ぜざるに至れり其他患者の皮膚に何等其他の障害は更に認めざりしと公然報道せり

▼委しき使用法は說明書にあり二錢郵券封入御申越次第無代進呈す

發賣元 コンスタツト、スツフトーカート市ボーリガー、ロイス會社

全國藥種商 輸入元 藥種貿易商 橫濱市太田町二町目卅一番地 阪田鉄太郎商店 (長電話五二五番 電路(サ)振替貯金口座東京一〇二四七番)

特約販賣店 東京本町森田 同 石浦 同 本石町淺野

賣藥店にあり

齒科診療

京城南山町二丁目(天眞樓隣 寫眞舘跡)

齒科醫 楢崎東陽

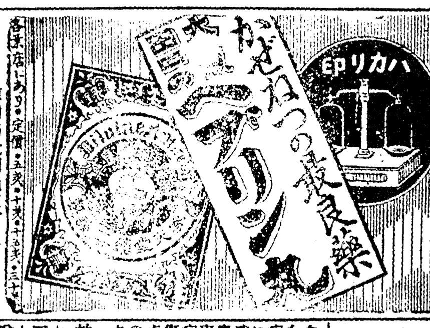
電話千三百六十番



島村醫學博士有効御證明

効略 ●腦充血●頭痛●神經衰弱●腦貧血●逆上●精神鬱憂●神經痛●耳鳴●大便祕結●腦膜炎●中風●卒中 神經系統諸症に多大の効あり

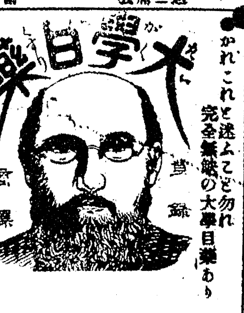
本舗 大阪心齋橋筋二丁目 東京日本橋區通油町 丹平商會藥房



各藥店にあり

代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九百四番 振替口座京城十六番

發行所元 大阪市北濱二丁目 ヘブリン丸 參天堂藥房



大學目藥は帝國醫科大學病院の處方に基き貴重の製劑にして●流行目●トラホーム●爛目●のぼせ目●かすみ目●血目●疲目其他眼病一切に可驚奇効あり

●かれこれと迷ふこと勿れ完全無缺の大學目藥あり

産婆 芝モト

仁川宮町三丁目長野新向(電話四一八番)

懇切丁寧に御世話可仕候

本品は食血症、肺病及之に類似の疾患神經衰弱、鈍、病後恢復期等に回復の點を下みなからず對し特効を有す

大瓶二圓 四十錢 小瓶一圓入 送料委細は說明書無代贈呈す

ボビナイン 飲むだけ血になる ボビナイン

朝鮮代理店 京城本町郵便局前 山岸天佑堂 振替口座朝鮮二三〇番 電話二七二番

台灣會社友田商店 振替口座東京一九三八番



二羽鶴は女性

經濟の點よりも品質即ち多少の犠牲を拂つても芳醇快美なる咽喉越しの良い美術的なり

販賣店は到る處に在り